

(Partial Translation)

JP-U H04-135181

Title of the Invention

A FIXING MECHANISM OF A CONNECTOR HOOD FOR A CABLE

Abstract

[Object] To permit a high-density mounting by reducing a mounting space of a connector hood for a cable, to eliminate the need of mounting tool, and to improve operability.

[Structure] A connector hood 1 for a cable is inserted into connector insertion openings 8a and 8b, and a cable connecting connector 2 is connected with an I/O connector 5. With connector mounting panels 7a and 7b being slid in directions opposite to each other, a protruding portion 9a of the connector insertion opening 8a and a protruding portion 9b of the connector insertion opening 8b are fitted in a fitting hole 3a of the connector hood 1 for the cable and in a fitting hole 3b of the connector hood 1 for the cable, respectively.

(10) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-135181

(43) 公開日 平成4年(1992)12月16日

(51) Int. Cl.⁴

H 0 1 R 13/74

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

D 8832-5E

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21) 出願番号 実開平3-51051

(22) 出願日 平成3年(1991)6月6日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 西山 倫明

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

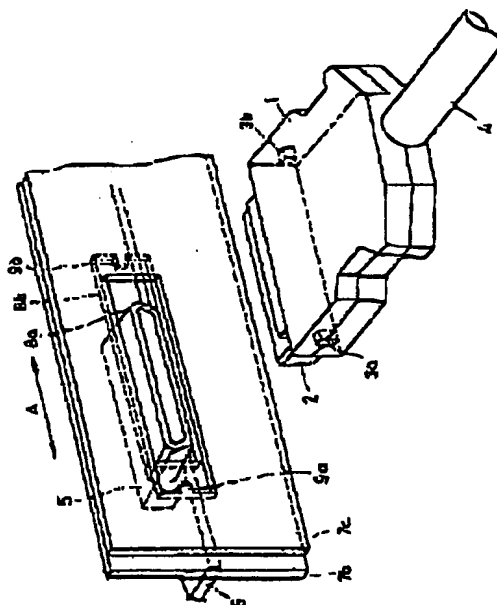
(74) 代理人 弁護士 ▲柳▼川 信

(54) 【発明の名称】 ケーブル用コネクタフードの固定機構

(57) 【要約】

【目的】 ケーブル用コネクタフードの取付けスペースを少なくして高密度実装を可能とし、取付け工具を不要とするとともに、作業性を向上させる。

【構成】 ケーブル用コネクタフード1をコネクタ挿入口8a、8bに挿入し、ケーブル接続用コネクタ2とI/Oコネクタ5とを接続する。コネクタ取付けパネル7a、7bが互いに対向する方向にスライドさせ、コネクタ挿入口8aの突起部9aをケーブル用コネクタフード1の嵌合穴3aに、コネクタ挿入口8bの突起部9bをケーブル用コネクタフード1の嵌合穴3bに大々嵌合させる。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 配線基板に設けられた入出力コネクタに挿入されて接続されるケーブル用コネクタを収容するケーブル用コネクタフードの固定機構であって、各々前記ケーブル用コネクタの挿入口を有し、互いに摺動自在に重ね合わせた第1および第2のパネルと、前記第1のパネルの前記挿入口の一辺に設けられた第1の突起部材と、前記第2のパネルの前記挿入口の前記一辺に対向する他辺に設けられた第2の突起部材と、前記入出力コネクタに接続された前記ケーブル用コネクタの前記ケーブル用コネクタフードの前記第1および第2の突起部材に対応する位置に設けられ、前記第1および第2のパネルの摺動によって夫々前記ケーブル用コネクタフード側に移動

2

する前記第1および第2の突起部材各々を嵌合する第1および第2の嵌合穴とを有することを特徴とする固定機構。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例を示す斜視図である。

【図2】 従来例を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 ケーブル用コネクタフード

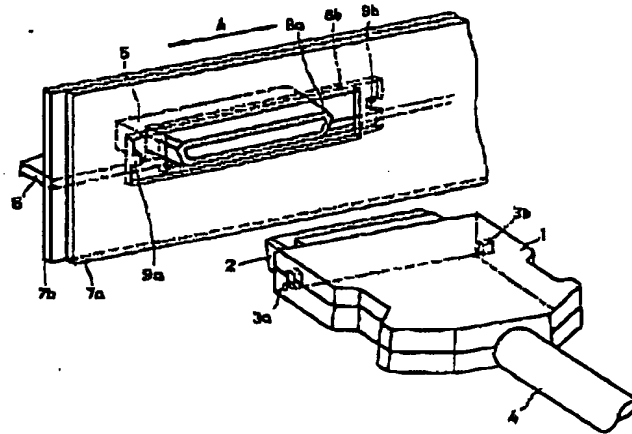
3a, 3b 嵌合穴

7a, 7b コネクタ取付けパネル

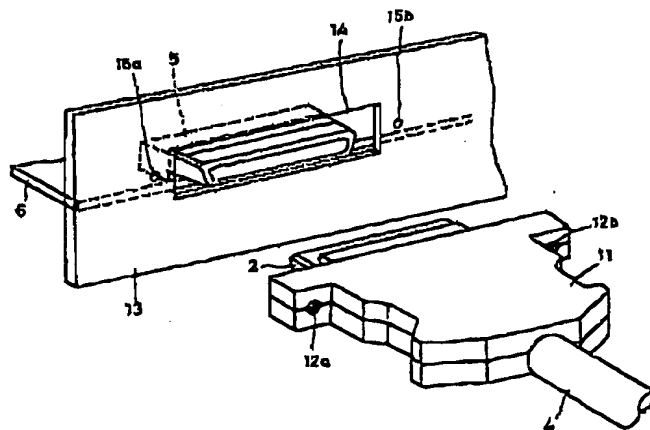
8a, 8b コネクタ挿入口

9a, 9b 突起部

【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【技術分野】

本考案はケーブル用コネクタフードの固定機構に関し、特に電子機器間を接続するインタフェースケーブルに使用されるケーブル用コネクタフードの固定機構に関する。

【0002】

【従来技術】

従来、この種のケーブル用コネクタフードの固定は、図2に示すように、インタフェースケーブル4の先端に取付けられたケーブル接続用コネクタ2をコネクタ取付けパネル13に設けたコネクタ挿入口14からプリント基板6に取付けられたI/Oコネクタ5に挿入し、ケーブル接続用コネクタ2とI/Oコネクタ5とを接続してから行われる。この後に、ケーブル用コネクタフード11に設けたネジ12a、12bをコネクタ取付けパネル13に設けたネジ止め穴15a、15bにネジ止めすることによって、ケーブル用コネクタフード11がコネクタ取付けパネル13に固定される。

【0003】

このような従来からのケーブル用コネクタフードの固定方法では、ケーブル用コネクタフード11にネジ12a、12bを設けているので、ケーブル用コネクタフード11の外形が大きくなり、取付けスペースを大きくとることとなり、高密度実装に適さないという問題がある。

【0004】

また、多くのケーブル用コネクタフード11を取付ける場合には、ケーブル用コネクタフード11を1つ1つネジ12a、12bによってコネクタ取付けパネル13にネジ止めしなければならず、作業性が悪く、しかもドライバなどの工具を必要とするという問題がある。

【0005】

【考案の目的】

本考案は上記のような従来のもので問題点を除去すべくなされたもので、取付

けスペースを少なくして高密度実装を可能とすることができ、工具を不要とすることができるとともに、作業性を向上させることができるケーブル用コネクタの固定機構の提供を目的とする。

[0 0 0 6]

【考案の構成】

本考案によるケーブル用コネクタフードの固定機構は、配線基板に設けられた人出力コネクタに挿入されて接続されるケーブル用コネクタを被覆するケーブル用コネクタフードの固定機構であって、各々前記ケーブル用コネクタの挿入口を有し、互いに摺動自在に重ね合せた第1および第2のパネルと、前記第1のパネルの前記挿入口の一辺に設けられた第1の突起部材と、前記第2のパネルの前記挿入口の前記一辺に対向する他辺に設けられた第2の突起部材と、前記入出力コネクタに接続された前記ケーブル用コネクタの前記ケーブル用コネクタフードの前記第1および第2の突起部材に対応する位置に設けられ、前記第1および第2のパネルの摺動によって夫々前記ケーブル用コネクタフード側に移動する前記第1および第2の突起部材各々を嵌合する第1および第2の嵌合穴とを有することを特徴とする。

【0007】

【实施例】

次に、本考案の一実施例について図面を参照して説明する。

[0008]

図１は本考案の一実施例を示す斜視図である。図において、ケーブル接続用コネクタ２はコネクタ取付けパネル７ a、 7 bに設けたコネクタ挿入口８ a、 8 bから挿入され、プリント基板に取付けられたＩ／Ｏコネクタ５に接続される。また、ケーブル接続用コネクタ２はケーブル用コネクタフード１によって固定されており、ケーブル用コネクタフード１内部でインタフェースケーブル４に接続されている。

【0009】

コネクタ取付けパネル 7 a, 7 b は図示せぬ架台あるいは管体に設けたレール (図示せず) によって左右方向 (矢印 A の方向) にスライド可能に上下から挟持

0070000000

ממלכות

注意！注意！

77:81!87-01-80

20 21 22 23 24

0070000000

ממלכות

できる。

[0013]

また、ケーブル用コネクタフード1においては従来のようなネジの取付けが不要となるので、取付けスペースを少なくすることができ、コネクタの高密度実装を可能にすることができる。さらに、ネジの取付けが不要となることからドライバなどの工具が不要となり、ケーブル用コネクタフード1の固定作業の作業性を向上させることができる。

【0014】

尚、本考案の一実施例ではコネクタ取付けパネル 7 a, 7 b を夫々左右方向にスライド可能としているが、上下方向にスライド可能としてもよい。また、コネクタ取付けパネル 7 a, 7 b の左右両端に設けたレバーなどを倒してコネクタ取付けパネル 7 a, 7 b がスライドしないように固定し、ケーブル用コネクタフード 1 をコネクタ取付けパネル 7 a, 7 b に固定するようにしているが、他の方法によってコネクタ取付けパネル 7 a, 7 b がスライドしないようにしてもよく、これらに限定されない。

[0015]

【考案の効果】

以上説明したように本考案によれば、各々ケーブル用コネクタの挿入口を有する第1および第2のパネルを互いに摺動自在に重ね合せ、第1のパネルの挿入口の一辺およびこの一片に対向する第2のパネルの挿入口の他辺に夫々第1および第2の突起部材を設け、第1および第2のパネルを摺動させて第1および第2の突起部材各々を、ケーブル用コネクタフードの第1および第2の突起部材に夫々対応する位置に設けた第1および第2の嵌合穴に嵌合してケーブル用コネクタフードを固定するようにすることによって、取付けスペースを少なくして高密度実装を可能とすることができ、工具を不要とすることができるとともに、作業性を向上させることができるという効果がある。